

新技術発表会に110人

畔蒜の深淺測量、共和の総合雨水循環

県土整備部技術管理課と(財)千葉県建設技術センターの共催による「土木技術講習会」(2010年度第1回新技術発表会)＝写真＝が18日、県庁中庁舎10階の大会議室で開かれ、民間による10件の新技術を発表。発表者と聴講者合わせて総勢110人余が出席した。

県では、新技術を活用した取り組みの一環として、民間で開発した新技術について発表会を開催。県及び市町村、建設コンサルタント関係者に広く情報を提供し、公共事業への円滑な活用並びに導入を実施している。

2003年度から年2回の割合で開催し、今回が15回目。これまでに合計216件の新技術が発表され、聴講者は1000人を超えた。昨年までに88件の技術について実施事例があり、ここ3年間では新工法が11件、新材料が14件のにのぼるといふ。

新技術の発表に先立ち、主催者を代表してあいさつした県土整備部技術管理課の小野正徳・副技監(兼)技術情報室長は、「本県では効率的な公共事業の執行のため、昨年3月に公共事業コスト構造計画2009を作成。その施策課題の中でも、民間技術の活用が大きな題目、新技術、新材料の採用が大事な施策の一部となっている」と説明したうえで、発表者らに対しては「コスト削減、品質の確保、環境保全といったさまざまな課題に対応する新工法及び新技術の開発に配慮頂き、改めて感謝申し上げます」と弁。

さらに氏は、「本日の新技術発表が、厳しい時代の技術屋の知恵となるよう、さらなる活用をお願いしたい」と要請し、あいさつを結んだ。

この日発表された10件の新技術の部門別内訳は、「工法」が6件と「材料」が4件。技術名と提案者は、発表順に

工法が「GPSを用いた深淺測量システム」(畔蒜工務店)、「ブラックス」(共和コンクリート工業)、「ホゼン式工法」(日本建設保全協会)、「セルクリート工法」(テクノクリート)、「コンクリート構造物内部の3次元映像化装置」(三造試験センター)、「シックセラ工法」(シックオン)。一方の材料は、同じく「ECOバインダーシリーズ」(東亜道路工業)、「ポストフレックス」(保安道路企画)、「サンドウエーブ(リサイクルガラス造粒砂)」(ガラスソーシング)、「高浸透性コンクリート改質剤(リバコン・リキッド)」。

工法の一つ「ブラックス」は、都市部の道路冠水とヒートアイランド現象の緩和を目的に、共和コンクリート工業(株)と(社)雨水貯留浸透技術協会が共同開発した「歩車道の舗装システム」で、歩道の下に設けた貯留槽に雨水を溜め、毛管材を介して歩道表面から蒸発させ、地表面の温度を低下させる一方、溜めきれない雨水は浸透させて道路冠水を防止する総合的な雨水循環(雨水活用)システム。

ブラックス(P RaCS)とは、「歩車道の雨水循環システム」(Pavement of Rainwater Cyclical System)の頭文字を取ったもの。

以下、各新技術の概要などは次の通り。

【ECOバインダーシリーズ】

▽部門＝材料(改質アスファルト)

▽特徴(副題等)＝ストレートアスファルトと同程度の温度設定でも製造可能なプレミックタイプ改質アスファルト。CO₂排出量の削減が可能。

▽提案者・連絡先＝東亜道路工業(株) 関東支社、塚田千治氏、03-3423-0231

【ポストフレックス】

▽部門＝工法(歩車道の雨水循環システム)

▽特徴(副題等)＝雨水の貯留浸透による道路冠水の抑制、雨水の浸透による地下水涵養及び雨水の蒸発によるヒートアイランド現象の軽減等により都市の水循環の健全化を図る。

▽提案者・連絡先＝共和コンクリート工業(株) 千葉営業所、佐久間康治氏、043-235-5590

【高浸透性コンクリート改質剤(リバコン・リキッド)】

▽部門＝材料

▽特徴(副題等)＝リバコン・リキッドをコンクリート表面に塗布することで触媒性化合物が躯体奥深く浸透し、



主催者を代表してあいさつする小野副技監(兼)技術情報室長(中央)、発表者の須田和明・畔蒜工務店経営企画室長(右)、共和コンクリート(株)の武井修氏

▽部門＝材料(視線誘導標)

▽特徴(副題等)＝車両に踏まれても復元する視線誘導標。低コストで、なおかつ補修が容易になるようポスト部のみ交換可能になった。凸型の形状により耐久性も高い。

▽提案者・連絡先＝保安道路企画(株)、山谷興輝氏、045-955-4311

【GPSを用いた深淺測量システム】

▽部門＝工法(測量)

▽特徴(副題等)＝外海の海底地盤測量において、GPSを用いることにより測量精度と測量能率を向上させる。

(本紙18日付2面に関連記事)

▽提案者・連絡先＝畔蒜工務店、須田和明氏、0479-84-1221

【サンドウエーブ(リサイクルガラス造粒砂)】

▽部門＝材料(ガラス造粒砂)

▽特徴(副題等)＝色つきのガラスびんやガラスくずを100%原料とし、造粒化することにより、良好な透水性・締め固め特性を持たせたりリサイクルガラス造粒砂であり、砂の代替材としての利用が可能。

▽提案者・連絡先＝ガラスソーシング(株)、矢嶋千浩氏、0479-24-6651

【ブラックス】

▽部門＝工法(歩車道の雨水循環システム)

▽特徴(副題等)＝雨水の貯留浸透による道路冠水の抑制、雨水の浸透による地下水涵養及び雨水の蒸発によるヒートアイランド現象の軽減等により都市の水循環の健全化を図る。

▽提案者・連絡先＝共和コンクリート工業(株) 千葉営業所、佐久間康治氏、043-235-5590

【高浸透性コンクリート改質剤(リバコン・リキッド)】

▽部門＝材料

▽特徴(副題等)＝リバコン・リキッドをコンクリート表面に塗布することで触媒性化合物が躯体奥深く浸透し、

躯体内部にセメント結晶を生成し、躯体内部を緻密化させるコンクリート改質剤である。

▽提案者・連絡先＝畔蒜工務店、伊藤泰彦氏、03-5779-7871

【ホゼン式工法(スーパーホゼン式工法)】

▽部門＝工法(橋梁床版増厚補強工)

▽特徴(副題等)＝特殊アンカー・PCM・樹脂注入で段階を追いながら走行車両の振動衝撃を抑制し、補強部材を確実に一体化させる下面増厚工法。

▽提案者・連絡先＝日本建設保全協会、山下鉄太郎氏、083-927-4509

【セルクリート工法】

▽部門＝工法(軽量繊維質モルタル)

▽特徴(副題等)＝繊維質混和材を細骨材とした気泡モルタル注入充填工法。材料の耐水性が高く、滞留水がある空隙、大断面及び1000mを超す長距離パンの管内充填が一方より可能。

▽提案者・連絡先＝畔テクノクリート、高坂俊行氏、024-921-5077

【コンクリート構造物内部の3次元映像化装置】

▽部門＝工法(探査)

▽特徴(副題等)＝電磁波を利用した非破壊検査であり、コンクリート構造物の内部状態を3次元映像で提供する装置である。

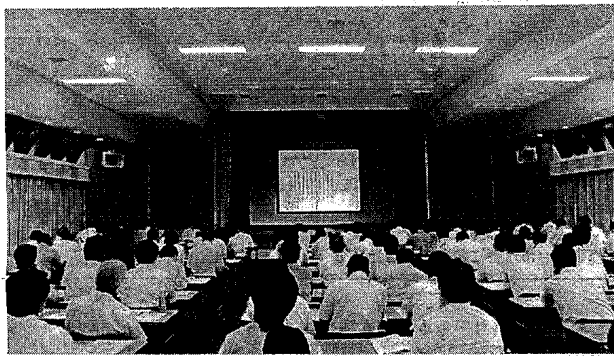
▽提案者・連絡先＝畔三造試験センター、岩崎修一氏、0436-43-8931

【シックセラ工法】

▽部門＝工法(コンクリート剥落防止)

▽特徴(副題等)＝完全無機質材のみを使用してトンネル補修・はく落防止・導水路補修・水路補修・橋梁補修・劣化防止を行う工法。

▽提案者・連絡先＝畔シックオン、猿橋隆幸氏、04-7190-1911



関東地方整備局発注予定業務

4

□7月期

▽業務名称＝①業務場所②種別③履行期間④業務概要⑤入札時期(契約締結時期)⑥入札及び契約の方法、の順)

(7月30日付12面より)

【関東技術事務所】

▽平成22年度路面性状測定・データ作成業務

＝①関東地方整備局管内②測量③約6か月④管内の路面性状測定を行い、この測定結果と各種入カデータをもとに、舗装管理支援システムに必要なデータを作成する。⑤第2四半期

⑥簡易公募型競争(総合評価落札方式)

▽平成22年度舗装等に関する評価・検討業務

＝①関東地方整備局管内②土木関係コンサルタント業務③約6か月④管内で実施した舗装の予防的修繕工法及び性能指標等について評価・検討を行う。⑤第2四半期⑥簡易公募型競争(総合評価落札方式)

▽平成22年度機械設備の新たな傾向管理手法の検討業務

＝①関東地方整備局管内②土木関係コンサルタント業務③約7か月④管内における機械設備の効率的な維持管理の提言を目的に新

じい状態保全技術の適用方法や履歴管理

システムの各種データの調査・分析を継続的に行う。⑤第2四半期⑥簡易公募型競争(総合評価落札方式)

▽平成22年度土木工事の監督・検査

技術等検討業務＝①関東地方整備局管内②土木関係コンサルタント業務③約6か月④土木工事の監督・検査に係る技術力維持・向上のための手法等について検討及び資料作成を行う。⑤第2

四半期⑥簡易公募型プロボ

(つづく)